



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈祷会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈祷会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日本語)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「日本伝道旅行」④
 ご夫人の久美子先生は得意の手話を生かして、教会の経営する幼稚園の子どもたちに手話やゴスペルフラを教えたり、今回も名古屋でのセミナーの講師として招かれたりで多忙であった。その十日のサンデーは礼拝で証しをし、今回、出版した『静かなヒーローたち』の紹介をさせていただいた。「この本には原爆に遭った広島再建に貢献したフロイド・シュモアについて記してありますが、彼について知っている人は居ますか？」と質問したところ、数人の方々の手が上がったのが嬉しかった。彼は広島の名誉市民であり、かつてその一般住民の住居建築の働きによって、ノーベル平和賞の候補にも上がった人物である。
 ネヘミヤは捕囚を逃れて生き残っているエルサレムの状況を尋ねた時、「エルサレムの城壁はくずされ、その門は火で焼かれたままであります」(一・三)という惨状を聞いた。シュモア氏も広島市民を自分のことのように思い、アメリカ人として原爆の償いをすべく、荒廃した原爆の地を再建したいと願ったのだ。
 僕は原爆ドームは未だ見たことがなかったので、先生に送ってもらって一日、その施設と隣接する平和公園を巡って歩いた。元安川を隔てて原爆ドームが見える平和公園のベンチでしばらくたずんでみた。知らず知らずのうちに涙が出てくる。そこにいると七十年前の原爆投下の現実に直面せざるを得ない。人の罪のなせる世界で、これほどの痛みはない。この原爆は日本との戦争を早期に終結させるために使わざるを得なかったと、アメリカはうそぶくのだが、そもそもこの日米戦争の発端である真珠湾そのものがアメリカの功名な仕掛けであった！彼らには弁解の余地はない。と同時に、原爆に対して広島の関係者の中にも多くの受け取り方があり、その対応も一致していないというのもまた悲しいではないか。原爆資料館での当時の被爆した展示品を見ながら、よくも人々は、ここまで悪魔になれるものだと、言葉もなかった。四国松山に向うその日も、原爆ドームの前に立った。ここから顔を背けてはいけないと思っただけだ。僕の目の前を日本各地からの修学旅行の子供たち、学生たち、そして外国人旅行者がひっきりなしに通る。彼らは一体、何を感じ、何を学ぶというのであろう。しばし立ち止まって感慨深くしている人はあまり見かけない。だが、僕は思う。万人がこの原爆ドームの前でたずむべきだと。そして、それまでの成り行きを知って欲しい、自分を見つめて欲しいものだ。というのも、この原爆の出来事を人事のように見ている私たち、否、自分がいるからだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」
 オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。
 私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

